

平成30年度  
事業報告

公益財団法人日本ナショナルトラスト

## 目次

<b>I 現況</b> .....	<b>1</b>
1. 事業 .....	1
2. 役員 .....	1
3. 評議員 .....	2
4. 事務局 .....	2
5. 事業資金 .....	2
6. その他 .....	2
<b>II 理事会・評議員会</b> .....	<b>3</b>
1. 理事会 .....	3
2. 評議員会 .....	3
<b>III 事業実施の概要</b> .....	<b>4</b>
1. 調査事業 .....	4
2. 保護事業 .....	4
3. 普及事業 .....	10
4. ネットワーク事業 .....	15
5. 団体交流事業 .....	16
<b>IV 登記事項、届出・報告・申請事項、登録事項</b> .....	<b>18</b>
別表 東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト助成金交付一覧表 .....	19
参考 アドバイザー名簿、顧問名簿、参与名簿及び観光資源専門委員名簿 .....	20

# I 現況

## 1. 事業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 前号により認定された観光資源（以下「保護対象」という。）の取得及び管理運営
- (3) 観光資源に関する保護活動への支援
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する学術調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情
- (7) この法人の健全な発展を図るために必要な関連事業の経営
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

## 2. 役員

(1) 平成 31 年 3 月 31 日現在の役員

会長	梅崎 壽	東京地下鉄（株）顧問
代表理事		
副会長	川村 恒明	（公財）文化財建造物保存技術協会顧問
代表理事		
理事長	小山 正宣	常勤
業務執行理事		
理事	小川 孝行	東京地下鉄（株）取締役鉄道本部鉄道統括部長
理事	苅谷 勇雅	元・文化庁文化財鑑査官
理事	木部 義人	（公財）日本ナショナルトラスト関西支部長
理事	久保 成人	（公社）日本観光振興協会理事長
理事	栗田 亘	コラムニスト（元・朝日新聞社論説顧問）
理事	柴崎 信三	元・日本経済新聞社論説委員
理事	柴田 耕介	（株）コバック顧問
理事	志村 格	（一社）日本旅行業協会理事長
理事	杉浦 雅也	東海旅客鉄道（株）執行役員営業本部長
理事	鈴木 雅和	筑波大学芸術系名誉教授
理事	高野 光司	（公財）日本交通公社理事
理事	武市 信彦	西日本旅客鉄道（株）執行役員東京本部副本部長
理事	日野 正夫	前・東日本旅客鉄道（株）常務取締役
理事	福本 啓二	（一社）日本民営鉄道協会理事長
理事	廻 洋子	敬愛大学特任教授
理事	森 まゆみ	作家

監事	今村 正	税理士
監事	山科 清一	(公財)鉄道弘済会専務理事

### 3. 評議員

(1) 平成 31 年 3 月 31 日現在の評議員

評議員	大西 孝夫	元・(一財)休暇村協会理事長
評議員	黒野 匡彦	(一財)運輸総合研究所顧問
評議員	清野 智	(独)国際観光振興機構理事長
評議員	曾我 健	(公財)NHK交響楽団名誉顧問
評議員	田川 博己	(株)JT B代表取締役会長
評議員	堤 哲	元・毎日新聞編集委員
評議員	伏屋 和彦	元・会計検査院長 (元・国税庁長官)
評議員	森地 茂	政策研究大学院大学政策研究センター所長

### 4. 事務局

平成 31 年 3 月 31 日現在の職員 5 名

### 5. 事業資金

本財団の事業資金は、事業賛助団体からの寄付金並びに個人および団体からの会費等による。

### 6. その他

三井住友信託銀行株式会社と「寄附に関する契約書」の締結し、特定寄附信託を活用した寄付金の受け入れを行った。

## Ⅱ 理事会・評議員会

### 1. 理事会

(1) 第1回理事会 平成30年5月24日

開催場所 海事センタービル7階会議室

決議事項 平成29年度事業報告及び決算報告、顧問の選任、参与の退任、観光資源専門委員の委嘱について、東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト支援事業対象遺産の選定について、旧モーガン邸の移譲について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告、平成30年度第2回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席11名、欠席8名。監事出席2名。

(2) 第2回理事会 平成30年6月12日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 代表理事（会長及び副会長）の選定、業務執行理事（理事長）選定

出席等 提案書に対し、理事19名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員からの書面による異議がないことの意味表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(3) 第3回理事会 平成31年3月6日

開催場所 海事センタービル4階会議室

決議事項 2019年度事業計画及び収支予算、2019年度補助金等の交付申請、特定資産の取崩、顧問の選任、定時評議員会の招集、諸規程の改定について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、2019年度第1回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席15名、欠席4名。監事出席1名。

### 2. 評議員会

(1) 定時評議員会 平成30年6月12日

開催場所 海事センタービル4階会議室

決議事項 平成29年度事業報告及び決算報告、評議員の選任、理事の選任、幹事の選任

報告事項 平成30年度事業計画及び収支予算、平成29年度第2回及び平成30年度第1回理事会の決議事項

出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席5名、欠席3名。同席理事2名、同席監事2名。

### Ⅲ 事業実施の概要

#### 1. 調査事業

##### (1) 観光資源保護調査

新潟大学が(公財)大林財団の助成を受けた「地域遺産調査のまちづくり活動への展開に関する研究-ナショナルトラストによる観光資源保護調査に着目して-」に協力を行い、これまでに実施した観光資源保護調査の各地域におけるまちづくりの展開に対する成果分析、及び調査報告書のデータベース化を実施した。

#### 2. 保護事業

##### (1) 文化財取得保護計画に基づく保護事業

###### ① 白川郷合掌造民家の修復と管理運営 (岐阜県白川村)

8月27日に白川村荻町集落において守る会会長及び荻町区長、白川ボックス代表、役場担当者等と白川郷合掌文化館・旧寺口家管理運営委員会を開催し、平成29年度の事業報告と平成30年度の事業計画について審議を行った。

旧寺口家の活用について村役場と覚書を締結し、地域おこし協力隊への貸館を試行していたが、平成29年度で試行期間を終え、覚書を終了した。そのため、白川郷荻町集落の自然環境を守る会と締結していた旧寺口家の管理業務委託契約の内容を変更し、JNTが定めた管理者が旧寺口家に居住し、維持管理および活用に従事することができるよう改定した。平成30年4月1日から元地域おこし協力隊の福田麻衣子氏が居住し、旧寺口家の維持管理にあっている。

また、10月14日～15日には村で行われた「どぶろく祭り」の手伝いに職員が参加し、地元住民との交流を深めた。

《管理運営委員会》和田正人・白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長、大田忠広・JNT白川ボックス代表、和田茂・荻町区長、川田裕・白川村老人クラブ長生会会長、倉嘉宏・白川村教育委員会教育長、安藤邦廣・筑波大学名誉教授、杉田房子・旅行作家(元JNT理事)他

\*旧松井家 貸館1件

###### ② 動態保存車両(トラストトレイン)の運行と修繕 (静岡県大井川鐵道)

4月～9月にかけて全5回のトラストトレインの運行を無事に終了した。8月25日は、次世代を担う子供たちが興味を持ってトラストトレインと触れ合う機会を作るため親子ボランティアを実施し、22名の参加があった。親子ボランティアでは、車内アナウンス体験やSL磨きなどを行い、好評を博した。蒸気機関車C12の動態復元については、引き続き大井川鐵道株式会社と調整を行っている。12月1～2日には、ボランティアで客車内の大掃除や安全講習を実施した。2月14日に大井川鐵道株式会社と運営会議を開催し、平成30年度の活動報告と2019年度の活動計画等について協議を行った。

<運行日>4月14日(7名)、6月2日(7名)、7月7日(5名)、8月25日(22名)、  
9月29日(5名) \*8月25日は親子ボランティア

### ③名勝旧大乘院庭園保存整備と管理事業（奈良県奈良市）

6月19日に保護管理委員会を開催し、昨年度の事業報告および本年度計画についての審議を行った。また、同日に管理協議会を開催し、管理や保存修理事業の報告および計画について協議を行った。平成28年度から2カ年計画で実施した整備事業により、中島反橋を渡り、園内全体を回遊し、全体の庭景を楽しむことができるようになり、観光資源としての魅力が向上した。この整備の成果を受け、文化財を観光資源として活用するモデルとして、積極的な活用を進めていく。また、この状態を良好に維持するために、4月から入園料の値上げを実施した。園池管理については、年間を通じて概ね良好な状態を維持した。公開については、入園料の値上げによる影響も少なく入園者数は微減にとどまり、ロケーション利用が前年の約1.5倍になったことから収益面では大幅な増収となった。9月24日に実施した恒例の「観月の夕べ」では、民間業者の協力を得て、トライアル的にライトアップを行い、好評を得た。また、昨年を引き続き「なら燈火会」「珠光茶会」などの受け入れなど公的な行事の受け入れや「関西文化の日」のイベントへの参画など積極的に入園者増加に向けての取り組みを行った。さらに、西日本旅客鉄道(株)の広報誌や読売新聞をはじめとするさまざまなメディアに取り上げていただき、広報の強化を図った。

《保護管理委員会》尼崎博正・京都造形芸術大学教授（JNT 観光資源専門委員）、松村恵司・奈良文化財研究所所長 他

\* 入園者数 9,451名(公開日数306日)、ロケーション利用等37件

\* 奈良県及び奈良市補助事業

### ④東京都指定名勝旧安田楠雄邸庭園の修理・修繕と管理活用事業（東京都文京区）

4月26日に第7回保護管理委員会を開催し、平成29年度の事業報告および平成30年度の事業計画について承認が得られた。平成29年度の事業報告では耐震補強等工事の実設計内容が報告され、また、平成30年度の事業計画として耐震補強等工事および工事監理等の発注先について審議し、承認を得た。8月末で公開を一旦休止し、9月から耐震補強等工事を実施している。

工事期間中、節句飾りを佐野美術館（静岡県三島市）に寄託し、「旧安田楠雄家の節句飾りと紙鳶洞（しえんどう）コレクション 名工 永徳齋の人形」として3月2日～4月7日の期間、展示された（入館者数：33日間で4,287名）。

2月22日には第6回構造補強検討会を開催し、工事の中間報告および地震に向けたソフト対策の中間報告を行った。耐震補強等工事は2019年11月上旬に終え、11月上中旬の再オープンを目指している。

平成29年7月から「旧安田楠雄邸耐震補強募金計画書」に基づき、個人・法人に対し、耐震募金を要請してきたが、資金調達が目途が立ったため、平成30年度末で募金を終了した（募金総額9,411,003円）。また、募金協力者等を対象とした工事見学会を2月22日および23日に開催し、54名の関係者に工事現場を案内した。

庭園は、定期剪定を実施し、良好な状態の維持に努めた。管理活用事業においては、活用ワーキング会議を月に1回開催、耐震補強工事中は適宜開催した。特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会（通称：たてもの応援団）や専門家と協議を図りながら五節句行事等の各種イベントの実施や撮影等の貸館対応など適正な活用に努めた。また、「東京の日

本庭園おもてなし協議会」(事務局：東京都建設局)による「東京いい庭キャンペーン」への参画など自治体による文化的活動にも協力するとともに様々な主体と連携し、取り組みを実施した。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授 (JNT 観光資源専門委員)、樋渡達也・前文化財指定庭園保護協議会会長、河東義之・小山工業高等専門学校名誉教授、内田青蔵・神奈川大学教授、服部勉・東京農業大学教授 他

\* 一般公開 3,241 名 (公開日数 44 日)、 貸館・団体見学・映像・写真撮影等 8 件

#### ⑤京都市指定文化財駒井家住宅の修復と管理活用事業 (京都府京都市)

7月11日に保護管理委員会を開催し、平成29年度の事業報告と平成30年度の事業計画について審議を行い、承認が得られた。修復事業については、今後の駒井家住宅のメイン事業となる台所の復元や温室・離れの活用に向けて、駒井家住宅の中・長期的な運営の指針となる保存活用計画の策定を行った。また、7月上旬の大雨による玄関付近排水工事と、9月4日の台風21号による被害箇所修理工事、隣家との境目に配置する四ツ目垣の設置工事など、管理・運営に関わる諸工事を実施した。庭園の管理については、京都造形芸術大学尼崎博正教授の指導のもと引き続き定期剪定と同大学の庭園実習の受け入れを継続した。公開・活用等については、3月30日～4月8日と5月3日～6日までの14日間、季節に合わせた春の連続公開を行い、505名が来館した。また、9月1日～29日までの公開日と9月16日の10日間、館内で新たに発見した卓博士のスケッチや研究メモを用いて秋の特別展示を行った。ボランティアと協力して貴重な資料を初めて公開した企画であり、期間中には105名が来館した。なお、9月16日は2019年9月に日本初開催となる国際博物館会議 (ICOM) 京都大会2019のイベントとして、休館日の特別開館を行った。

《保護管理委員会》三村浩史・京都大学名誉教授 (JNT 観光資源専門委員)、尼崎博正・京都造形芸術大学教授 (JNT 観光資源専門委員)、山形政昭・大阪芸術大学教授、松井正文・京都大学名誉教授 他

\* 京都市補助事業

\* 一般公開 1,568 名 (公開日数 75 日)、 貸館・団体見学・映像・写真撮影等 29 件

#### ⑥旧モーガン邸の管理事業 (神奈川県藤沢市)

適切な安全管理及び地域活性化の観点から、平成23年度から実施しているJNTと特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会による活用試行を今年度も継続的に実施した。11月11日に開催され、恒例となった旧モーガン邸募金コンサートには、JNTが後援を行った。月1回の庭園公開とイベントを実施しており、今年度も順調に推移した。日常の維持管理については、守る会との管理委託契約に基づき、1ヶ月に1回の清掃ボランティア活動を継続的に実施した。また、(一社)日本建設業連合会の社会貢献活動の一環である庭園清掃ボランティア活動の受け入れを行った。旧モーガン邸の今後のあり方については、移譲候補先である(公社)横浜歴史資産調査会より藤沢市およびJNTあてに事業計画が提出された。その後、随時(公社)横浜歴史資産調査会との打ち合わせを実施し、移譲契約書の精査を行った。契約内容が決定次第、移譲手続きを行っていく。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授（JNT 観光資源専門委員）、吉田鋼市・横浜国立大学名誉教授、亀山章・東京農工大学名誉教授、大野敏・横浜国立大学教授、水沼淑子・関東学院大学教授、菅孝能・山手総合計画研究所代表取締役、他

⑦文化財取得保護計画募金計画の継続

文化財取得保護計画における募金計画の成果を受けて、各保護資産においてさらに利活用を目指した修復を実施するために、経済界および関係諸団体、会員などに対し広く呼びかけを行い、募金活動を推進した。

(2) その他の保護事業

①天心遺跡記念公園及び天心墓地の保護管理（茨城県北茨城市）

天心遺跡記念公園においては、定期的な除草、清掃作業を行った。また、老朽化した竹垣の補修や支柱交換等を行った。天心墓地では、除草作業と月2回の点検及び供花を行った。園内及び墓地は十分に整備され、美しい姿となっている。10月10日には梅崎会長と小山理事長が現地を視察し、五浦ボランティアガイドグループや茨城県天心記念五浦美術館と情報交換を行った。周辺の実心関連施設と連携を図りながら公開事業を促進した。また、10月13日～11月4日に開催された「観月会2018」に後援を行った。

《保護管理委員会》豊田稔・岡倉天心偉績顕彰会会長、小泉晋弥・茨城大学教授、猪瀬幸己・茨城県立天心記念五浦美術館館長 他

\* 北茨城市補助事業

②ED70形1号交流電気機関車の保護管理（滋賀県長浜市）

西日本旅客鉄道(株)寄贈のED70形1号交流電気機関車について長浜市民やボランティアによる保護管理を行い、広く一般に公開している。また、平成22年度からジェイアール西日本商事(株)により商品化・販売された「ED70-1 ナンバープレート」は完売となった。

③巻機山の景観保全（新潟県南魚沼市）

景観保全活動として、8月19日～21日まで、ボランティアによる植生復元のための採種、追播種や登山道の整備、植生調査等を実施した。

活動実施日 夏季活動：8月19日から21日

参加者総計 17名

④東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの実施

東日本大震災復興のため最後となる第五次支援事業対象遺産の公募を開始したところ、原発被害のために申請が遅れていた福島からの応募が多く寄せられた。5月15日に東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト支援事業特別委員会を開催し、第五次支援事業として有形文化財3件、民俗・無形文化財4件の計7件の選定を行った。うち、「気仙沼風待ち地区の国登録有形文化財群 千田家住宅主屋」は、延長申請の申し出があり、これを承諾したため、翌年度の実施となったが、それ以外の6件の事業が完了した。今後は、これまで

の支援対象がそれぞれの地域の核となり、大切に守られ、まちづくりの拠点や観光資源として活用されるように応援を続けていく。なお、募金については、9月末に終了した。

(募金状況 法人 30,450 円、個人 46,930 円、パートナー事業 10,000 円、合計 87,380 円/  
平成 31 年 3 月末累計 68,227,289 円 \* 9 月末募金終了)

### (3) ヘリテイジセンターの管理運営

#### ① 葛城の道歴史文化館の管理運営 (奈良県御所市)

葛城の道散策マップや街道の神社・仏閣に関する資料、伝統行事の写真などが展示されており、葛城古道を散策するための情報拠点となっている。また、館内には休憩所とともに、集会所を備え、住民と来訪者が交流し、歴史を活かしたまちづくりや歴史環境の保全について考える場としても活用されている。

(入館者数 10,209 名)

#### ② 飛騨の匠文化館の管理運営 (岐阜県飛騨市)

7 月の大雨により列車の運転が寸断され、来館に影響があった。

海外との交流が活発である飛騨の匠文化館は、7 月 17 日~22 日はニューヨーク州立バッファロー大学建築学科サマープログラムが実施され、伝統工芸とテクノロジーを学ぶ合宿が開催された。8 月 6 日には「飛騨市ふるさとこども大使任命プロジェクト」として小学生 34 名が来館し、飛騨の匠の魅力を学んだ。そのほかの活動として、ネクタイピンなど木を加工した千鳥格子のアクセサリ開発や雑誌やテレビ取材などの広報活動も積極的に行っている。このように、拡充した展示コーナーや体験コーナー等を活用しながら、飛騨の匠の技を体感できる場として、また歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。

(入館者数 7,046 名)

#### ③ 白川郷合掌文化館(旧松井家)の管理運営 (岐阜県白川村)

管理運営については安定した体制での管理を目的に、白川村在住の JNT 会員からなる白川ボックスと管理業務委託契約を締結しており、日常点検や清掃、軽微な修理、屋根のメンテナンス等を実施した。6 月 29 日には白川ボックス総会を開催し、あわせて清掃作業を実施して 8 月 1 日~8 月 31 日に夏季開館を行った。

(入館者数約 970 名) \* 8 月の 7 日間の入館者数

#### ④ 名勝大乘院庭園文化館の管理運営 (奈良県奈良市)

フルートコンサートや庭園講座等を実施したほか、庭園との共催で仲秋の名月に合わせた「観月の夕べ」を 9 月 24 日に実施し、お茶席を設け好評を得た。また、恒例となった「なら燈花会」に併せた演奏会(8 月 10、11 日)や珠光茶会(2 月 9 日、10 日)など、地域と連携することで奈良での大きな観光イベントの会場にも利用された。また、展示スペースにおいて「二十四節気書画展」、「奈良の庭と森おさむの業績」、「杉岡華邨・書 パネル展示」、「入江泰吉出張写真展」などを開催し、好評を得た。

(入館者数 42,634 名)

⑤長浜鉄道文化館の管理運営 (滋賀県長浜市)

長浜市および(公社)長浜観光協会により、年間を通じて長浜の鉄道史を紹介するなど、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。5月27日に引退したSL北びわこ号C56形蒸気機関車を記念した企画展「さよならポニー～SL北びわこ号C56形蒸気機関車の軌跡～」(4月27日～5月27日)や「ビジネス特急こだまとブルートレインあさかぜ誕生60周年特別展」(7月1日～9月30日)が開催された。また、2月から「雪にいどむ鉄道展」が開催され、様々な視点から鉄道への理解を深める企画を行っている。

(入館者数 49,923 名) \*長浜スクエアとしての入館者数

⑥琴引浜鳴き砂文化館の管理運営 (京都府京丹後市)

日本や世界の鳴き砂の展示や世界各地からの漂着物などの常設展示のほか、地元地区と連携してエコツアー等を実施し、地域の魅力を発信した。7月～8月の台風の影響で入館者は昨年に比べ減少したものの、クラフト体験はインターネットでの予約が増え、収益に貢献した。また、親子を対象とした「アブラゼミ羽化観察会」(7月22日)、「琴引浜自然教室」(7月28日～30日)などのほか、市内の小学生の特別授業として「大地の学習」(9～10月)が開催され、地元の子供たちの学習の場として活用された。そのほか、“あなたが拾ったゴミが入場券”という恒例の環境啓発イベント「はだしのコンサート」を6月3日に開催し、今年度は「マイクロプラスチックごみ」の存在と脅威を琴引浜から世界へ発信することを目的とした。地元高校生が制作したゴミアートなども展示され、好評を得た。

(入館者数 9,787 名)

⑦北陸線電化記念館の管理運営 (滋賀県長浜市)

D51形蒸気機関車とED70形1号交流電気機関車を通年内部公開するとともに、交流電化の歴史資料等のパネルを展示した。鉄道の日である10月14日には展示車輛2台の清掃ボランティアを実施し、定員を上回る12組の親子が参加し好評を得た。整備については、2階のバルコニー部分について、経年劣化により立ち入ることが危険な状態となっているため、部材の取り換え工事を実施した。

(入館者数 49,923 名) \*長浜スクエアとしての入館者

⑧村上歴史文化館の管理運営 (新潟県村上市)

歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮し、今年度は市内遺跡のうち中世時代を中心とした出土品の展示「市内遺跡出土品展～中世の村上～」(12月1日～2月24日)や、恒例となった「城下町村上に伝わるひな人形展」(3月1日～4月3日)が開催された。

(入館者数 18,427 名)

⑨四国鉄道文化館の管理運営 (愛媛県西条市)

近年新たに建設された四国鉄道文化館南館と十河信二記念館、観光交流センターとともに形成される「鉄道歴史パーク in SAIJO」として、地域の賑わいの拠点となっている。7月21日に入館者数50万人を達成し、50万人目の入館者や館長らと共にセレモニーを実施した。11月23日～25日に「伊予西条鉄道フェスタ2018」が開催され、盛況であった。ミニSL乗車会や展示、鉄道玩具運転会等が実施されたが、そのうち南予キャラクター列車「おさんぼなんよ」乗車会・車内鉄道教室は事前申し込みで定員に達し、関心の高さがうかがわれる。また、今年度から始まった企画である北館に展示されている0系新幹線の掃除体験・勉強会「0系ぷらす」は定期イベントとして今後も継続される。また、JNT個人会員から鉄道資料の寄贈先の相談を受け、調整を行った結果、西条市が受け入れることとなった。また、同会員から四国鉄道文化館の展示及び修繕費用に充当するための資金として320万円の寄付を受けた。

(入館者数 52,964名)

### 3. 普及事業

#### (1) 会員事業

##### ①見学会・催し物等の開催

##### (ア) トラストトレイン

- ・トラストトレイン運行日およびボランティア参加者数

4月14日(7名)、6月2日(7名)、7月7日(5名)、8月25日(22名)、9月29日(5名) \*8月25日は親子ボランティア

- ・大掃除等ボランティア活動

12月1日～2日(6名)

##### (イ) 旧安田楠雄邸庭園

- ・主催イベント

4月7日・・・・・・・・・・・・・・・・・・しだれ桜と琵琶の夕べ

4月11日・・・・・・・・・・・・・・・・・・防空壕公開

4月18日、21日、25日、28日・・・・・・となりの高村さん展第2弾高村豊周邸写真展

5月1日～6月30日・・・・・・・・・・JNT50周年記念事業「はがきサイズのフォトコンテスト in 旧安田楠雄邸 みんなに伝えよう 99歳の魅力！」

5月2日～6日・・・・・・・・・・端午の節句 五月飾り、  
JNT50周年記念事業「チエキ持ってGO! 99歳の旧安田邸を撮ろう」

6月2日・・・・・・・・・・・・・・・・・・福楽寄席

7月4日、7日・・・・・・・・・・・・・・・・七夕の節句

7月7日・・・・・・・・・・・・・・・・・・新内節の夕べ

8月4日・・・・・・・・・・・・・・・・・・防空壕公開

- ・協カイベント

<いい庭キャンペーン>

4月7日および14日、東京都建設局が事務局を務める「東京の日本庭園おもてなし協議会」が実施するいい庭キャンペーンに参加し、園路を開放した。

(ウ) 駒井家住宅

3月30日～4月8日・・・春の連続公開（卯月）

5月3日～5月6日・・・春の連続公開（皐月）

9月1日、7日、8日、14日、15日、

21日、22日、28日、29日・・・秋の特別展示（駒井卓先生の研究ノート）

9月16日・・・休館日の特別開館（ICOM 京都大会プレイベント）

② 会員活動の支援

会員の自主的な活動に対して、様々な支援を行った。

(ア) 地域活動

白川ボックス／ヘリテージセンター白川郷合掌文化館の開館・建物維持管理

4月20日・・・雪囲いはずし

6月29日・・・清掃、総会

7月30日・・・清掃

8月1日～8月31日・・・夏季開館

11月20日・・・雪囲い

1月～2月・・・雪降ろし

(イ) サークル活動

民家・町並みサークル／総会、見学会、講演会、サークルニュース発行等

5月12日・・・総会

8月4日・・・見学会「木陰と清流を求めて国分寺から国立へ」

9月22日・・・見学会「房総のむら」

10月13日・・・見学会

「信州茅野の藤森建築と諏訪湖畔の旧甲州街道をたどる1日」

1月29日・・・見学会「浦和くらしの博物館民家園」

2月23日・・・見学会「旧安田邸耐震工事見学と鶯谷周辺街歩き」

③ 会員増加キャンペーンの実施

関連団体及び企業の協力により、入会申込書の配布や設置、ポスター掲出等を行い、入会促進に努めた。また、期間限定で以下のキャンペーンを行った。

(ア) 設立50周年入会金無料キャンペーン

4月1日から11月30日までに入会した方を対象として入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャンペーンを行い、積極的にPRした。

(イ) 初年度会費無料キャンペーン

12月1日から3月31日までに入会した方を対象として初年度会費及び入会金を無料にするキャンペーンを実施した。

(ウ) プラスワンキャンペーン

4月1日から5月31日まで会員の紹介者に対して入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャンペーンを行い、積極的にPRした。

## (2) 広報事業

### ①会報「日本ナショナルトラスト報」の発行・配布（隔月刊）

年間6回の発行で紙面の充実した会報作りを行っている。会員へ配布するとともに、事業協力者へも広く頒布し、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。

<体裁>B5 16頁 <発行部数>2,500部 <通巻>525号～530号

525号(5月1日発行) 特集「名勝旧大乘院庭園平成の大整備完成」

526号(7月1日発行) 特集「今年のしごと」

527号(9月1日発行) 特集「旧安田邸フォトコンテスト開催」

528号(11月1日発行) 特集「岡倉天心の想いー五浦から世界へー」

529号(1月1日発行) 特集「おかげさまで50周年」

530号(3月1日発行) 特集「新・文化庁の誕生と文化財保護法改正」

### ②メールマガジンなどの普及宣伝ツールの充実

月2回程度メールマガジンを配信し、会員および事業協力者へのタイムリーな情報発信を図るほか、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。(登録者数 約480名)

### ③広報宣伝活動の強化

#### (ア)「学生観光論文コンテスト」の実施

(一財)日本ホテル教育センターとの共催により下記の通り、第8回学生観光論文コンテストを実施している。1月16日審査委員会が行われ、94編の応募の中から厳正なる審査の結果、下記の通り決定した。また、2月19日に第47回国際ホテル・レストラン・ショー(東京ビッグサイト)会場内にて表彰式が執り行われ、横浜国立大学経営学部大沼ゼミ3年山崎正弘、加藤春乃、加藤綾華に対し「(公財)日本ナショナルトラスト会長賞」を授与した。

目的： 将来の観光産業のリーダーとなる若者の育成を通じて、日本政府ならびに観光庁の観光政策をサポートすることにより日本を明るく元気にする一助とする

論文テーマ： 下記三つのテーマの中から一つを選択 \*未発表のものに限る

A) 世界が訪れたい観光立国ニッポンを目指して、私の提案

B) 自然や文化を活かした魅力ある地域づくり

～ナショナル・トラスト活動でできること、私の提案

C) 我が国のMICE(マイス)競争力強化に向けて、私の提案

賞： 最優秀賞1編には賞金50万円、優秀賞2編には賞金各25万円を贈呈

募集期間： 10月1日～11月27日

応募資格： 日本国内の大学・短大・専門学校に在籍する学生

\*但し大学院生は対象外

結果： 最優秀賞【観光庁長官賞】

相模女子大学学芸学部英語文化コミュニケーション学科 小泉ゼミ 4年北村里奈、小此木玲奈

テーマ A 「日本における多文化共生の食文化への対応～食のコミュニケーションツールでホッと（HOT）快適な日本に～」

優秀賞【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】

横浜国立大学経営学部 大沼ゼミ 3年山崎正弘、加藤春乃、加藤綾華

テーマ B 「伝統工芸品から考える魅力的な地域づくりのあり方～お稽古産業の活性化を通して～」

優秀賞【一般社団法人日本シティホテル連盟会長賞】

琉球大学観光産業科学部観光科学科観光政策研究ゼミ 4年 屋比久加南子、梶祐太郎、名嘉章吾、徳田真奈美

テーマ A 「地方も都市も見る観る向上プロジェクト～留学生モニターツアーを活用した地域振興策の提案～」

(イ) 「メトロファミリーパーク in AYASE」に参加

11月18日、東京メトロおよび(公財)メトロ文化財団のご協力で綾瀬車両基地で行われた車両基地イベント「メトロファミリーパーク in AYASE」に参画し、JNT やトラストトレインのPR活動を行った。

(ウ) 関係団体の広報協力

旧安田楠雄邸庭園については、東京メトロで駅の「地域ポケット利用」等の広報協力をいただいているほか、地下鉄博物館(東京都江戸川区)にJNTとトラストトレインのパンフレットおよびトラストトレインの維持修復を呼び掛ける募金箱を設置していただいている。駒井家住宅及び旧大乘院庭園については、JR西日本や叡山電鉄から継続的に広報協力を得ており、保護資産及びプロジェクトを通じ、広く当財団の紹介を行っていただいた。JR東海とJR西日本のご協力により新幹線搭載誌「ひととき」に定期的に当財団のPRページを提供いただき、大きな効果があった。さらに(公社)日本観光振興協会をはじめとする観光関係団体のメールマガジンやHPでも、JNTのイベント情報を発信するなどの広報協力をいただいた。

(3) その他普及事業

① 設立50周年記念事業

設立50周年を契機にさらなるステップアップを図るため、各プロパティにおいて記念事業を実施した。そのほか、JNT50周年記念ロゴやポストカード、フリクションペン及びトートバッグなど記念グッズの制作を行った。また、式典は来年度4月8日に実施する予定のため、必要な準備を行った。

(ア) トラストトレイン 50周年記念事業「ヘッドマーク・サボ・ポスターの作製」

ヘッドマークおよびサボ(行き先表示板)は鉄道ファンや大井川鐵道を訪れた方にPRす

ることを目的に、ポスターはトラストトレインを知ってもらうことを目的に、ボランティアの皆さんで議論と検討を重ねながら制作し、8月25日のトラストトレイン親子ボランティアでは、完成品をお披露目した。

(イ) 旧安田楠雄邸庭園 50周年記念事業「イベントの開催」

5月2日～6日に、子供たちの目線で旧安田邸内の写真を撮ってもらうイベント「チェキ持ってGO! 99歳の旧安田楠雄邸を撮ろう」を、5～6月には「はがきサイズのフォトコンテスト in 旧安田楠雄邸 みんなに伝えよう 99歳の魅力!」を開催した。フォトコンテストでは139点もの作品が寄せられ、その中から受賞作品6点を選定した。

(ウ) 駒井家住宅 50周年記念事業「ビジュアルブックの制作」

ボランティアの方々が企画・発案から関わり、駒井家住宅の成り立ちや駒井卓・静江夫妻の生活像がうかがえる館内の見どころについて分かりやすくまとめたビジュアルブックを作成した。希望者に500円で頒布し、好評を得た。

(エ) 地域遺産支援プログラム 50周年記念事業「プロジェクトロゴの制作」

白川村の茅刈りの企画を行うかややね会議のメンバーで検討を重ね、プロジェクトロゴを制作した。今後は、PRツールにこのロゴを活用し、積極的に広報を行っていく。

②地域遺産支援プログラムの実施

事業のコンセプト等を検討するワーキングを立ち上げ、外部からの協力を得て、様々な検討を行っている。今年度は、白川村のほか他地域での事業の検討も開始した。さらに、白川村から「白川村茅文化実態調査・普及啓発書籍作成委託事業」を受託した。白川村におけるモデル事業での経験を活かし、「結」など村の茅文化をまとめた冊子を作成、国際茅葺き会議2019で参加者に配布した。

(ア) 岐阜県白川村

白川村と協働で茅刈りを行う「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト～秋の一斉茅刈り～」を平成27年度から実施している。企画内容は白川村に関心のある東京の若手で「かややね会議」を開催し検討を重ねた。11月10日の茅刈りには、一般参加者および村内参加者約120名の事前申し込みがあり、過去最高の人数での茅刈りを実施した。茅刈り後の直会では、白川村村民と参加者が交流を深め、茅刈りに対する意見交換が行われた。村民より刈る茅の質の担保等の改善点も挙がり、村内での茅刈りに対する意識の変化もみられた。翌日はかややね会議で企画した、小学生から民俗芸能を習う「民俗芸能体験プログラム」を実施した。普段交流することのない小学生との企画は好評を博した。

(イ) 山梨県甲州市

過去に観光資源保護調査を行ったことがきっかけとなり、地元若手有志で結成された「上条を活性化する会」の定例会に職員が参加している。現在はイベントの県外広報などをJNTが担っており、今後の協働事業を検討している。

③会員サービスの拡充

会員に対し、優待施設を提供するなど会員サービスの充実に取り組んでいる。

④各種シンポジウムなどイベントの開催

各保護資産およびヘリテイジセンターにおいて前述の通りのイベントを開催した。

⑤他団体主催イベント等への後援

- ・ 第 67 回日本観光ポスターコンクール

主催：(公財)日本観光振興協会

後援名義期間：平成 30 年 11 月 1 日～2019 年 11 月末

- ・ 第 10 回柳都新潟・古町花街イベント古町最前線～活動の軌跡と展開～

主催：古町花街の会、新潟三業協同組合、新潟大学都市計画研究室

後援名義期間：平成 30 年 5 月 10 日～6 月 17 日

- ・ 「上条集落大根収穫祭」

主催：上条を活性化する会

後援名義期間：平成 30 年 8 月 16 日～11 月 4 日

- ・ 「文化講演会」

主催：名勝大乘院庭園文化館

後援名義期間：平成 30 年 1 月 25 日～3 月 16 日

- ・ 第 11 回柳都新潟・古町花街イベント 花街は未来遺産！防災で支える古町活性化

主催：古町花街の会、新潟三業協同組合、新潟大学都市計画研究室

後援名義期間：平成 31 年 2 月 18 日～3 月 31 日

- ・ 第 41 回全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会

主催：特定非営利活動法人 全国町並み保存連盟

後援名義期間：平成 31 年 8 月 31 日～11 月 8 日

⑥情報発信

ウェブサイトを積極的に活用し、会員や JNT に関心のある層への情報発信に努めた。特に公式フェイスブックを活かし、JNT 各担当が現地の情報を親しみやすく、かつきめ細やかに発信しており、会員にも好評である。また、ウェブサイトは、工事が完了した名勝旧大乘院庭園の写真の差し替えや東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト募金終了に伴う、寄付ページの改定など最新の情報を提供できるよう随時修正を行った。フェイスブックも最低 1 週間に一度は更新するようしており、会員の皆さまと双方向でつながることができ好評を得ており、現在、約 350 人がフォローしている。

## 4. ネットワーク事業

(1) 「全国鳴砂ネットワーク」への参加

JNT 事務所において開催された総会に職員が出席した。

<会期> 2 月 23 日

<会場> 東京都千代田区

- (2) 「(一社) 日本茅葺き文化協会」への参加  
大山町で開催された総会及びフォーラムに職員が出席した。  
＜会期＞6月16日～17日  
＜会場＞鳥取県大山町

- (3) 「湘南邸宅文化ネットワーク協議会」への参加  
会員として参画し、協力を継続している。

- (4) 「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」への参加  
大阪市で開催された総会及び交流会に職員が出席した。  
＜会期＞6月10日  
＜会場＞大阪府大阪市

## 5. 団体交流事業

文化財や自然環境の保護・保全を目的とする各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を行った。また、国内の諸団体や海外のナショナルトラストをはじめとする環境保全団体等と交流を行い、情報収集に努めた。

### (1) 国内交流事業

#### ①国内保護団体との連絡連携及び情報の交換

##### (ア) 文化財指定庭園保護協議会

鳥根県津和野町で開催された総会及びシンポジウムに職員が出席し、情報交換と交流に努めた。

＜会期＞6月28日～29日

＜会場＞鳥根県鹿足郡津和野町

##### (イ) 歴史的景観都市協議会

愛知県犬山市で開催された総会に職員が出席し、情報交換と交流に努めた。

＜会期＞10月25日～26日

＜会場＞愛知県犬山市

##### (ウ) 全国町並みゼミ

長野県長野市で開催された総会に職員が出席し、情報交換と交流に努めた。

＜会期＞11月16日～18日

＜会場＞長野県長野市

##### (エ) 九州町並みゼミ

臼杵市で開催された「第6回九州町並みゼミ臼杵大会」に職員が出席し、情報交換と交流に努めた。

＜会期＞3月23日～24日

＜会場＞大分県臼杵市

#### ②登録を行っている諸団体

(公社)京都市観光協会、(公社)国際観光施設協会、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本茅葺き文化協会、(公財)日本交通公社、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会、一水会(観光関係団体懇談会)、京都市内博物館施設連絡協議会、文化財保存全国協議会、文化財指定庭園保護協議会、産業考古学会、鉄道友の会、日本鉄道保存協会、全国近代化遺産活用連絡協議会、湘南邸宅文化ネットワーク協議会、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

## (2) 国際交流事業

### ①海外保護団体との連絡連携及び情報の交換等、国際交流の推進

本年度も歴史遺産・自然環境の保護・保全を目的とするナショナルトラスト活動を行う世界各国の各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を努めた。

(ア) 韓国ナショナルトラスト協議会より白川郷視察の依頼を受け、白川村におけるナショナル・トラスト活動の説明を白川郷荻町集落の自然環境を守る会より行った(12月13日実施)。また、12月17日にJNT事務所において日本のナショナルトラスト活動に関する現状と課題について講演を行い、情報交換を行った。(参加人数16名)

### ②交流を図っている団体

英国ナショナルトラスト(名誉会員)

米国ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

オーストラリア・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ニュージーランド・ナショナルトラスト

(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

クイーンエリザベス二世ナショナルトラスト

(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ジョージア州ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

フィジー・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

バミューダ・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

## IV 登記事項、届出・報告・申請事項

### 1. 登記事項

平成 30 年 6 月 26 日

- ・松山良一評議員の退任、清野智評議員の就任
- ・厚地純夫理事、杉田房子理事、杉山篤史理事、山村明義理事、山村晋一理事の退任、小川孝行理事、苅谷勇雅理事、杉浦雅也理事、高野光司理事、福本啓二理事の就任(平成 30 年 6 月 12 日付)

### 2. 届出・報告・申請事項

平成 30 年 6 月 30 日

- ・事業報告等の提出(内閣府)

平成 30 年 7 月 10 日

- ・理事変更届出(内閣府)

平成 31 年 3 月 29 日

- ・事業計画書等の提出(内閣府)

参考

東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト助成金交付一覧表

(単位：円)

		No	所在地	対象遺産名	交付額	事業概要
第五次支援事業	【建造物・記念物】	1	福島県 福島市	矢吹家住宅	2,471,000	外塀（石塀）の復旧工事
		2	福島県 南相馬市	天野家住宅	2,500,000	主屋、西蔵、米蔵の将来の本格的な修理に先駆けての応急修理
	【民俗文化財・無形文化財】	3	岩手県 釜石市	南部藩壽松院年行司支配太神楽	500,000	子供用装束の購入
		4	岩手県 釜石市	尾崎町虎舞	497,000	半纏、太鼓の購入
		5	岩手県 下閉伊郡	大宮神楽	472,000	幕と太鼓の新調
		6	福島県 いわき市	波切不動尊	250,000	波切不動尊祭礼道具の購入
合計金額					6,690,000	

## 参考

### アドバイザー名簿 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

アドバイザー 大塚 陸毅 東日本旅客鉄道(株)相談役

以上 1 名

### 顧問名簿 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

顧問	石原 進	九州旅客鉄道(株)相談役
顧問	石渡 恒夫	京浜急行電鉄(株)取締役会長
顧問	泉 雅文	四国旅客鉄道(株)取締役会長
顧問	大須賀 頼彦	小田急電鉄(株)特別顧問
顧問	大橋 洋治	ANA ホールディングス(株)相談役
顧問	尾関 宗園	大徳寺大仙院閑栖
顧問	門脇 邦彦	日本空港ビルデング(株)名誉会長
顧問	小山 薫堂	放送作家
顧問	佐々木 隆之	西日本旅客鉄道(株)相談役
顧問	白川 保友	北海道旅客鉄道(株)代表取締役会長
顧問	須田 寛	東海旅客鉄道(株)相談役
顧問	筒居 博司	前・(公財)日本ナショナルトラスト理事長
顧問	富田 哲郎	東日本旅客鉄道(株)取締役会長
顧問	夏目 誠	成田国際空港(株)代表取締役社長
顧問	根津 嘉澄	東武鉄道(株)取締役社長
顧問	伏見 勝	元・報知新聞社最高顧問
顧問	MARI CHRISTINE	異文化コミュニケーター
顧問	宮田 亮平	文化庁長官
顧問	村田 光平	元・駐スイス大使
顧問	山村 明義	東京地下鉄(株)代表取締役社長
顧問	山本 亜土	名古屋鉄道(株)代表取締役会長

以上 21 名

### 観光資源専門委員名簿 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

観光資源専門委員	尼崎 博正	京都造形芸術大学教授
観光資源専門委員	井手 久登	東京大学名誉教授
観光資源専門委員	大塚 初重	明治大学名誉教授
観光資源専門委員	河東 義之	小山工業高等専門学校名誉教授
観光資源専門委員	西村 幸夫	神戸芸術工科大学教授
観光資源専門委員	三隅 治雄	東京文化財研究所名誉研究員
観光資源専門委員	三村 浩史	京都大学名誉教授
観光資源専門委員	宮脇 昭	横浜国立大学名誉教授

以上 8 名